

# まつもと 公民館報

発行

2019

7/30

- 問い合わせ 中央公民館  
TEL 32-1132 FAX 37-1153
- 編集 公民館報編集委員会
- 印刷 株式会社プラルト

シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 44

## 明治から令和へ 時の流れを経て 旧開智学校が国宝に



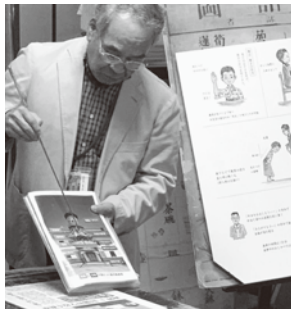
### 初等教育の象徴

5月17日(金)  
文部科学大臣に、  
旧開智学校校舎  
の国宝答申が行  
われ、官報告示の  
後、正式な指定に  
なります。

明治9(1876)年に竣工した校舎は、松本の初等教育を担ってきました。昭和38年から2年かけて現在地に移築して、昭和40年から博物館として利用されています。

旧開智学校を案内する市民ボランティアも増えつつあり、観光客の増加に対応できるよう期待が広がっています。

高等教育の旧制松本高等学校校舎とともに、「学都松本」の誇りを次世代に伝えたいですね。



わかりやすい説明は努力のたまもの

「世の中の役に立たねばー」シニア大学卒業生はそれぞれ自分の目標を掲げます。平成16年に卒業生の有志数人がボランティアをここで始めました。当時、国宝松本城はすでに説明員の体制が整っていました。そこで、まだ市民の支

### シニア大学の卒業生

重要文化財「旧開智学校校舎」が国宝に指定される見込みとなりました。学都松本を代表する貴重な財産が、さらに重みを増します。あらためて市民のサポート活動が重要になります。旧開智学校を支える市民活動を取材しました。

国宝から国宝（松本城から旧開智学校）が見える」「教育の学都の更なる励みになる」と、説明ボランティア歴5年の池田善重さんは、誇らしげに話してくれました。旧開智学校のボランティアメンバーの多くは長野県シニア大学の卒業生です。

援が薄かった、旧開智学校をボランティア活動の場に決めました。

建設に関する資料は11万点にも及びます。こうした資料により新たな価値が明らかになったことで、「国宝に値する」と評価されました。国宝指定となれば日本最初の近代教育建築物、学都松本の宝です。

現在のボランティアメンバーの登録者は17人、最年少は昭和28年生まれ。「次の担い手を作っていくこと」が差し迫った課題です。

### 大学1年生の意欲

6月下旬の週末の朝、旧開智学校でボランティア希望者向けの見学会説明会が開かれました。

そこに、松本大学の男子学生3人が参加しました。学内、地域づくり考房「ゆめ」では、地域と連携し学生がさまざまな活動に参加する支援をして

います。3人の希望に沿った相談により参加を決めました。この応募時には、国宝指定に答申されることは、知りませんでした。

見学と説明を受けた3人の感想は、「実際に見学し、説明員の方のように、自分も見学者にガイドしたい」「練習を重ね、説明ボランティアに取り組みたい」「お客様の興味や関心に合わせて話し、自分なりに工夫した案内ができるようになりたい」と前向きで熱意を感じました。

新しいボランティアメンバーの誕生が期待されます。

### 松本市立開智小学校

旧開智学校に隣接する開智小学校に伺いました。校内校長室の入口近くの壁に、連日新聞各社が報道する、旧開智学校国宝指定を祝う特集記事を切り取り貼りだしています。表示のスペースは当初の想定エリアを超えて日々拡大しています。

旧開智学校の清掃に、数年前から6年生が参加しています。期間を決めて掃除道具を持参し、担当を一階と二階に分かれ床磨きをします。清掃する時間はお客様の見学時間でもあり、清掃とともに観光



力作！顔出し看板

客とのコミュニケーションも図れます。

旧開智学校の庭に設置されている記念写真用顔出し看板は、開智小学校の昨年の6年生が作りました。先代の看板は一昨年台風で壊れており、卒業を前に製作を決め、平成31年3月に完成しました。旧開智学校をバックに、文明開化の香りがする装いで記念の一枚。人気です。

### ボランティアの喜び

見学者が楽しむ一助となればうれしく、お礼の言葉は力になります。自分自身が学ぶ機会もたくさんあります。

旧開智学校にかかわる人々は、これまでもそしてこれからも、大切な『学都』のサポーターです。

『愛・正・剛』清く正しくたくましく、浅井泷の詩を今も校歌として歌い継いでいます。実は、この校歌は昭和10年までは当時の市内各学校で歌われていたそうです。歌詞は信濃の国より難解と思われ

ます。この校歌は、在校生や先輩たちによって、ずっと歌い継がれていくのでしょうか。

## ちよこつ 松本さんぽ

### 内田地区に残る ～時を知らせた太鼓～

江戸時代、武士登城の合図に使われた「二番呼び出し太鼓」が内田地区に残っている。明治初期に松本城が競売に出されたとき、北内田村が競り落としたといわれる太鼓。払い下げを受けて、大八車を引いて一日がかりで運んできたというエピソードが、今に伝わる。



直径85cm  
長さ100cm

(撮影：2019.4.28 内田地区クネノ内正八幡宮)



皆さん、見に来てね

6階のメイン会場には、早速見学する市民の皆さんや、年に一度この会で懐かしい友達に会いたい、と参加した人

国際色豊かに…

今年通常のイベントのほかに、メインテーマの「対話」に関連したシンポジウムも開かれました。

第10回 こいこい松本 6月23日Mウィング

外国人と会話をしまじよう

で大賑わいでした。

会場には16の国と地域を紹介するための小さなブースが設けられており、それぞれの趣向を凝らした展示やミニコーナーが作られました。流暢に日本語を話すスタッフもいれば、たどたどしい人もいました

写真でつづる まつもとの今昔 ④④

～松栄町・西堀通り～



(2004.7.30 写真提供:日本報道写真連盟) 古い倉庫や街角のタバコ屋、信州会館のネオン。街灯も二つ灯されて、明かりが道路に流れ出している。



(2019.6.30 撮影) 倉庫は駐車場に店は閉店し、街灯も一灯だけに減灯されたが、周りが明るくなり、すっきりした街並みに変わった。

日本で働く外国人への日本語教育と受け入れ態勢

今年「こいこい松本」では、テーマ「対話」に関連した事例を取り上げてシンポジウムを開く事となり、「滞在外国人に日本語を教える」という問題を中心に意見交換を行いました。



「指導者やスタッフの多くをボランティアに頼っており、年々高齢化が進むうえ、若い人に参加していただく事も難しいので、今後の運営が心配です」というお話がありました。

の後、地域日本語教室(市内13教室)を運営している方から

おこひる

定年退職後の趣味として始めた写真撮影も10年が過ぎた。今でも上達を願いつつ続けている。▼定年後数年たつてから、地区

の福祉ひろば行事「ふれあい健康教室」に参加する機会があった。その時、カメラマンを依頼されてから、ずっと続けてきた。お年寄り・保育園児・小学生・養護学校の生徒たちの笑顔がとても生き生きとしてまぶしい。何度も撮影してきているが、全く飽きない▼撮影ジャンルは問わないが風景写真が主だ。信州は撮影場所には全く困らない。毎年同じ時期に、同じ場所で撮影してきているが、全く違う顔を見せる。NHK文化センター1写真教室の写真展を目標に毎月撮影会に参加している▼昨年からは娘が写真を始めたので、2か月に一回程度撮影会を実施している。先輩として、意思を持って景色を切り取るように指導している。撮影しては、評価し、反省しながら技術を磨いているが奥が深い▼これからも趣味を生かしながら、地域のボランティア活動を続け、人生をまっとうしていきたい。

# 歴史探訪 探ろう松本 12

## 松本城と共に生まれた町人町 第一地区

松本駅の東側に位置し、繁華街とともに多くの史跡の面影が見られます。

### 地区の現状

第一地区は、女鳥羽川と薄川の間であり、令和元年7月1日現在、世帯数814、人口1,491人、19町会で構成されています。世帯の少ない町会を考慮し、5つのブロックに分けられています。

### 歴史と文化

第一地区は、昔から松本の城下町の中心として、多くの商家が軒を並べ、栄えてきました。親町といわれる中町、本町とその枝町である博労町は善光寺街道として、同じく本町の枝町である伊勢町は野麦街道として交通の要衝でもありました。明治以降の度重



なる区画整理事業の結果、町の姿は現在も変わり続けていますが、敵に備える道路特有の食い違い・丁字路・鉤の手等の遺構は現在も残り、当時を偲ぶことができます。

上杉謙信から送られた塩を運んだ牛を繋いだと伝わる「牛つなぎ石」、藩王小笠原秀政氏次男忠政氏の出陣の際、別れを惜しむあまり陣羽織の袖にすがる乳母を振り切った出発した場所と伝わる「袖留橋(緑橋)」、この度、国宝に指定される旧開智学校も当地の女鳥羽川沿いにありました。

その他40を超える史跡は地区の皆さんによって守られ、平成25年には史跡マップが作られました。

### 住民の取り組み

松本市内随一の繁華街を擁する第一地区。居住人口は、市内35地区中34番目の少なさです。対して、働く人々や観光・買い物客など昼間人口は1万2千人、日



納涼祭

によつては3万人を超えるとも言われています。

あめ市や市民祭など、市を挙げての大きな行事のメイン会場になり、賑わいを見せる同地区ですが、町会単位で独自の行事を開くことのできるくらい世帯数の少ないところも多く、居住者同士の絆を深めようと、地区全体が協力して、納涼祭や敬老祝賀会、ふれあいまつりなどを開催しています。

深夜まで営業する飲食店なども多く、治安の悪化を防ぐと、「自分の街は自分たちで守ろう」を合言葉に、平成16年から、地区住民と警察で、月1回程度の浄化パトロールをしています。

## わがまち自慢(山辺中学校) 山辺ドリーム大学

入山辺、里山辺両地区をまたいで学区とする山辺中学校。



スクエアダンス 女性はドレスが正装です

が蝶のように輝く」という願いを込めた造語です。学科は全部で18あり、歌う会、お茶、お花、着付けなどは講師を引き継ぎながら続き、5年前からスクエアダンスが加わりました。

科目を選んだ理由はさまざまですが、感想を聞くと声をそろえて「すごく楽しい」と返ってきました。

生徒が学科長となり講座を進め、地区内だけでなく広く招かれた講師がサポート役となります。そして約3割が地域からの受講生。年配の方のスキルに触れ、世代と地域を超えた交流が自然に出来上がっています。

「普段触れることのない経験を通じて、地域の人も触れ合うことができます」。生徒たちがキラキラ輝くドリーム大学です。

### 地産地消のかんたんレシピ

#### 道産子秘伝の『いももち』 北海道の郷土料理 新じゃがで!!

材料：じゃがいも、片栗粉、しょう油、みりん、砂糖、サラダ油

1. じゃがいもの皮をむいて、適当に切って茹でる
2. ザルに上げて水けを切って、マッシャーで潰す
3. 粗熱がとれたら片栗粉を加えて混ぜ合わせる
4. 調味料を混ぜて煮立たせて、溶いた片栗粉を加えてタレをつくる
5. 丸めた3を多めの油で、両面揚げ焼きにする
6. 皿に盛りつけてタレを塗る

